

TKC中国会広島支部・広島銀行殿との2025度交流会



広島銀行

「顔の見える関係」構築のために更なる連携強化を！

令和7年11月11日(火) 17時30分～19時30分 於:TKPガーデンシティ広島駅前大橋

広島銀行様とTKC中国会広島支部の交流会が開催されました。広島銀行殿からは各支店長が参加され、互いに中小企業支援の伴走者として取り組むことを確認しています。

● TKC会員 43名

● 広島銀行様 36名

TKCからの発表(三木中小企業支援委員長)



- ①予兆管理に対する取り組み事業者に対する支援や働きかけ
- ②予兆管理に対する取り組み/金融機関・信用保証協会との連携
- ③予兆管理に対する取り組み/連携支援に向けた現状の課題や今後の方向性
- ④いまこそ金融機関と「顔の見える関係」構築！

広島銀行様からの発表(前原担当課長)

(営業企画部 法人企画室)



- ①中期計画の法人における戦略の柱
- ②事業ステージに応じたソリューション提供
- ③創業ステージの関連施策
- ④成長ステージの関連施策
- ⑤経営改善・承継ステージの関連施策

ディスカッションでは、意気投合で新たな勉強会企画も挙がりました！

ディスカッションでは、テーマを

- ①今困っていること、
- ②中小会計要領をどう活用しているか、
- ③書面添付は見ているか、
- ④TKC会員にもとめること、とし話し合いました。

結果発表では書面添付の認知を高める必要性を感じ、

TKC会員が講師となって、決算書や書面添付、会計要領に関して勉強会を支店単位で最寄りの会員を行うことがその場で決まった等、活発な意見交換が行われました。



TKC広島支部では交流会・勉強会で顔の見える関係を構築します！

金融機関における粉飾決算等予兆管理態勢の高度化が求められる中で決算書の信頼性が今まで以上に重要になってくると考えています。TKCでは、「税理士から見た”経営者に刺さる”財務諸表(決算書)の見方、粉飾決算の見つけ方と提案力の醸成」をテーマに、各支店単位で勉強会の開催を検討しております。交流会・勉強会を通じて顔の見える関係を構築して参りましょう。

